

目的

本プログラムは、大学院地域文化研究科博士前期課程2専攻（言語文化専攻、地域・国際専攻）および博士後期課程地域文化専攻が、各々の特性・人的資源・カリキュラムを活かしながら、高度な言語運用能力を備えた地域研究者を養成するためにおこなう教育プログラムです。
 学生個々の専門分野・研究テーマに関する知識・技能を向上させるだけでなく、周辺分野の基礎的素養を身に付け、学際的な研究テーマに対して自らの専門的知識を活用する専門的探求能力を培います。本プログラムによって育成される、高度な言語運用能力に基づき、問題を学際的かつ専門的な視野から自立的に追究しうる国際水準の地域研究者は、グローバル化の進む地球社会時代にあって、現代の日本および国際社会に、強く求められている人材であるといえます。

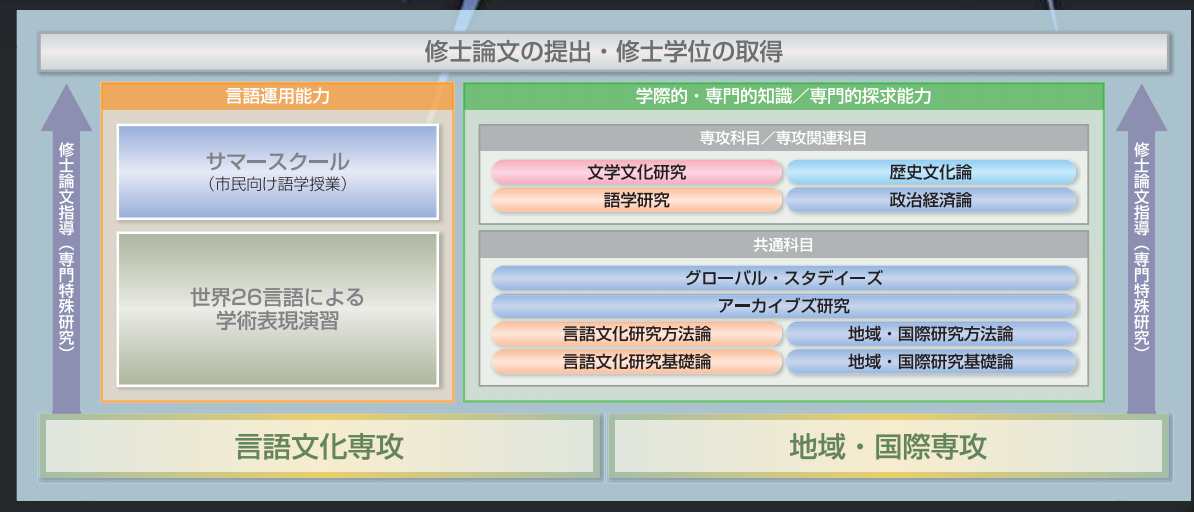
地域文化研究科 2007～2009年度 大学院教育改革支援プログラム

「高度な言語運用能力に基づく 地域研究者養成」

内容

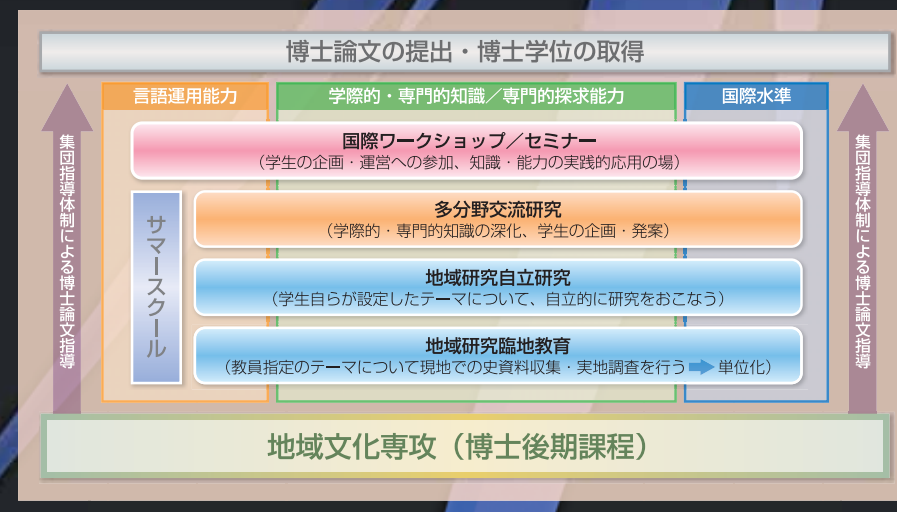
博士前期課程

1. 地域研究に必須の**高度な専門的知識と幅広い知見**を身につける
 「アーカイブズ研究」「歴史文化論」「政治経済論」「文学・文化研究」「グローバルスタディーズ」等の科目の充実
2. 各々の研究分野を**学際的な視野から探求する能力**を身につける
 「言語文化研究基礎論」「言語文化研究方法論」「地域・国際研究基礎論」「地域・国際研究方法論」等の科目の充実
3. 国際学会・ワークショップでの**プレゼンテーションや論文執筆に必要となる高度な運用能力**を培う
 ・世界の諸言語の「学術表現演習」科目の一層の充実
 ・博士後期課程の学生とも協力して実施する市民向け語学授業（サマースクール）



博士後期課程

1. 「**地域研究臨地教育**」の充実
2. 国内外各地における**学術調査旅行**を支援
3. 「**地域研究自立研究**」の開設
4. 「**多分野交流研究**」の一層の充実
5. **国際ワークショップ、セミナー**を企画・実施



教育実質化のための取組

